

# 大会及び体験会等のイベント開催時に於ける 感染防止対策チェックリスト

## 1.主催者向け

分類	チェック項目		チェック欄 (実施済：レ点記入)
	項番	詳細	
全般的な事項	1	感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所(受付会場等)に掲示すること	
	2	各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること	
	3	障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮すること	
	4	万が一感染が発生した場合に備え、個人情報への取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた書面について、1ヵ月間保存しておくこと	
	5	終了後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、実施施設または自治体の衛生部局等とあらかじめ検討しておくこと	
参加募集時の対応	1	参加者が次の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること(開催当日に書面で確認を行う等) ①体調がよくない(例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合) ②同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる ③過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触があった	
	2	マスクを持参すること(参加受付時や競技・実技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること)	
	3	こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること	
	4	他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)	
	5	大きな声で会話、応援等をしないこと	
	6	感染防止のために主催者が決めた措置の遵守をはじめ主催者の指示に従うこと イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること	
	6	イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること	
当日の参加受付時の対応	1	受付窓口には、手指消毒剤を設置すること	
	2	発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないよう呼び掛けること(状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる)	
	3	人と人との対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮断することを考慮する	
	4	参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと	
	5	受付を行うスタッフには、フェイスシールド・マスク・手袋を着用させること	

	6	インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにすること	
	7	当日の受付のほか、イベント前日の受付を行い混雑を極力避けること	
	8	参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めること 氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号) ※個人情報の取扱いに十分注意する	
		①利用当日の検温	
		②利用前2週間における以下の事項の有無 (1)平熱を超える発熱(おおむね37度5分以上)	
		(2)咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状	
		(3)だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)	
		(4)嗅覚や味覚の異常	
		(5)体が重く感じる、疲れやすい等	
		(6)新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無	
		(7)同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合	
	(8)過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合		
参加者への対応	1	マスク等の準備	
		①参加者がマスクを準備しているか確認すること ②受付、着替え、表彰式等の競技を行っていない間については、マスクの着用を求めること(審判、競技委員等もマスクを着用)	
	2	スポーツイベント参加前後の留意事項 イベントの前後のミーティング等においても、三つの密を避けること (懇親会等は避けること)	
主催者が準備すべき事項の対応	1	手洗い場所	
		①手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること	
		②「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること	
		③手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を必要に応じて用意すること(参加者にマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること) ④手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を使用すること	
	2	更衣室、休憩・待機スペース	
		①広さにはゆとりをもたせ、他の参会者と密になることを避けること(障がい者の介助を行う場合を除く)	
		②ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること	
		③室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等)については、こまめに消毒すること	
		④換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること ⑤スタッフが使用する際は、入退室の前後に手洗いをする	
	3	洗面所	
		①トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水栓トイレのレバー等)については、こまめに消毒すること	

	②トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること	
	③手洗い場には石鹼(ポンプ型が望ましい)を用意すること	
	④「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること	
	⑤手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を用意すること(参加者にマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること)	
4	飲み物の提供時	
	①参加者が飲み物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること	
	②スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトル・ビン・缶で提供すること	
	③食べ物は提供しないこと	
5	観客の管理	
	①観客同士が密な状態とならないよう、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとること	
	②大声での声援を送らないことや会話を控えること	
	③会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知すること	
6	会場について	
	①換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと	
	②換気設備を適切に運転すること	
	③定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと	
7	ゴミの廃棄	
	①ゴミは各自で責任をもって回収するよう周知すること	
	②マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹼と流水で手を洗い、手指消毒すること	

## 2.参加者向け

分類	チェック項目		チェック欄 (実施済：レ点記入)
	項番	詳細	
	1	以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることを(利用当日に書面で確認を行う)	
		①体調がよくない場合(例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)	
		②同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合	
		③過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合	
	2	マスクを持参すること(参加受付時や着替え、競技や実技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること)	
	3	こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること	
	4	他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)	
	5	大きな声で会話、応援等をしないこと	
	6	感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと	
	7	イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること	
	8	イベント前後のミーティングにおいても、三つの密を避けること	
	9	十分な距離の確保	
		①競技及び実技をしていない間を含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離(※)を空けること(介助者や誘導者の必要な場合を除く) ②競技・実技の実施時でマスクをしていない場合には、十分な距離(※)を空けるよう特に留意する必要があること (※)感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である。	
10	位置取り：待機中などでは、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並列、あるいは斜め後方に位置取ること		
11	タオルの共用はしないこと		
12	飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること		
13	飲み切れなかった飲料水の容器は指定場所以外にすてないこと。		

本チェックリストはあくまでサンプルであり、イベントの内容及び実施施設からの指示に基づいて項目を見直すとともに、場所の特性等を勘案して、感染拡大予防のための必要な項目は適宜盛り込んでいただきますようお願い致します。